

Well-Being in Miyagi

[第13回企画展]

宮城に生きる民俗 宮城の漁業

2025|10|25^{SAT}—12|14^{SUN}

開館時間：午前9時—午後5時（最終入場は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日／ただし、祝日・振替休日の場合は翌日休館

 **石巻市博物館**

Well-Being in Miyagi

主催

石巻市博物館

協力

宮城県民俗担当職員協議会
（宮城民俗コムンス）

後援

TBC 東北放送

ミヤギテレビ

kbb 東日本放送

仙台放送

NHK 仙台放送局

河北新報社

三陸河北新報社（石巻かほく）

石巻日日新聞社

ラジオ石巻FM76.4

一般社団法人石巻観光協会

一般社団法人石巻観光推進機構

ガラス浮子（石巻市博物館蔵）

Well-Being in Miyagi

宮城の漁業

宮城県は、県中央部に突き出た牡鹿半島を境に、北は複雑に海が入り組んでできたリアス海岸、南は平坦な砂浜海岸が仙台湾を形成し、沖合では親潮と黒潮がぶつかる世界三大漁場に数えられる資源豊富な海を有しています。143の漁港と9ヶ所の水産物産地卸売市場があり、**全国**屈指の水産県です。本展覧会では、石巻地域を中心に県内の漁業に焦点を当て、海のめぐみを受け、海と共に暮らしてきた人びとの生活の営みを紹介します。

また、今回は「宮城に生きる民俗」という共通テーマのもと、県内7会場で展示を行います。**県内7ヶ所**それぞれの会場で、多種多様な風土に根ざし営まれてきた暮らしや文化を紹介します。

[関連行事]

1 リレー講座

11月22日(土) 13:30～15:00

「宮城の民俗 1974-2025」

講師：東北歴史博物館 研究員 今井 雅之氏

会場：マルホンまきあーとテラス 小ホール

定員：300人 ※参加無料・予約不要

2 展示解説

解説：石巻市博物館 学芸員

① 10月25日(土) 9:00～

② 12月14日(日) 14:00～

※各回30分程度

※詳しくは博物館HPをご確認ください

(資料画像) ※すべて石巻市博物館蔵

1. ナマコ採り：海底をさらいナマコを採る
2. 延縄籠：縁には釣鉤をかけて収納
3. 烏賊釣り具と烏賊角：イカを釣る秘密道具
4. 捕鯨鉤：クジラ目がけて投げ込む
5. ガラス浮子：海に浮かべる目印

[観覧料] 一般：600円 高校生：300円 小中学生：200円

[交通案内]

公共交通をご利用の場合

◆仙台駅→石巻駅

JR 仙石東北ライン 仙台駅1～6番ホームから乗車で約60分

JR 仙石線 仙台駅9～10番ホームから乗車で約85分

高速バス(ミヤコーバス) 仙台駅西口21番乗り場から乗車で約70分

◆石巻駅→マルホンまきあーとテラス

タクシー 石巻駅前タクシー乗り場から乗車で約10分

路線バス 石巻駅前1番乗り場から石巻専修大学線に乗車で13分

総合運動公園前(石巻)下車徒歩約2分

お車をご利用の場合

三陸自動車道「石巻女川IC」から車で約5分 駐車場無料(347台)



1



2



3



3



4



5



[同時期開催]



東北歴史博物館

宮城に生きる民俗 | 暮らしを伝えるモノ語り

10/11—12/21

名取市歴史民俗資料館

宮城に生きる民俗 | 自治体史と暮らしの記録

10/5—12/21

多賀城市埋蔵文化財調査センター

宮城に生きる民俗 | 多賀城海軍工廠と地域の変化

10/4—12/21

大崎市図書館

宮城に生きる民俗 | カマ神さまと民俗

10/7—12/21

松山ふるさと歴史館

宮城に生きる民俗 | 大崎・松山のカマガミ

10/4—2/22

しばたの郷土館

宮城に生きる民俗 | 仙南のくらしと道具

10/4—12/21

各施設に置いてある
スタンプを3種類集めると、
記念品(オリジナル手ぬぐい)をプレゼント!!

●1 記念品をお受け取りの際は、3館目に訪れた施設でこちらのチラシをご提示ください。(※大崎市図書館ではお受け取りいただけません) | ●2 記念品を購入することはできません。転売もご遠慮下さい。 | ●3 記念品のお渡し期間は、2026年3月末日までとなります。

東北歴史博物館スタンプ



同時期開催館スタンプ

